

学科	担当教員氏名	テーマ（講義名）	内容
実践経済学科	有馬 弥重	ゲーム理論と経済の関係	どのような状況でも勝つための“最高の選択”ができるように考えるのが、「ゲーム理論」と呼ばれる学問です。この理論を用いて、身の回りの経済現象・出来事について解説を行います。
	尹 清洙	「経」「済」「学」とは：中国の哲学思想からみる経済学の本質	アダム・スミスは『国富論』（1776）の作業で「経済学の父」と呼ばれるようになったが、『国富論』を理解するには彼のもう一つの作業である『道徳感情論』（1759）抜きではその本質が見えにくい。本講義では老子の『道徳経』と孔子の『論語』、プラトンの『国家』とアリストテレスの『ニコマコス倫理学』などの資料を用いて中国と西洋の哲学思想を比較しながら、経済学の本質について分かりやすく解説する。
		AI・データサイエンス時代における統計学の役割	近年深層学習などの機械学習の進展によってAIはかなり高度な判断や予測ができるようになった。AIの急速な発展の背景の一つとして、情報技術と計測技術の進歩によるビッグデータの取得をとり上げることができる。ビッグデータから必要な知識を抽出するために用いられたのが統計多変量解析で、それが機械学習の根幹をなす技術となっている。本講義では、1変量解析から多変量解析について逐次説明しながら、統計学の学問的性格についてわかりやすく解説する。
	植野 貴之	最適な意思決定をするには？	我々は、常に様々な場面で問題に直面し、決定を下しています。個人の場合は、ある程度勘などでもいいかもしれませんが、企業などではそういうわけにはいきません。その際に、科学的な方法により得られた決定であれば、説得力が違うでしょう。この講義では、我々の身近な問題に対して、科学的（数学的？）方法を用いて決定をする手法について、いくつか説明したいと思います。
	岡本 洋幸	入門 九州経済	近年、九州への関心が高まっています。理由は、世界的半導体メーカーのTSMC（台湾）が熊本に進出したことです。これをきっかけに、半導体関連産業への投資が九州全体で増加し、2021年からの10年間で約23兆円の経済効果が見込まれています。一方、九州は全国に先駆けて人口減少が進んでおり、人手不足の問題が生じています。人口の減少は、地域の産業や経済の持続可能性に大きな影響を与えます。このような状況を踏まえ、九州の人口動態や都市・地域の構造、経済・産業の特徴、そしてTSMC進出による変化について分かりやすく解説します。
	壁谷 順之	「老後資金2000万円」時代のお金の貯め方・増やし方	「マイナス金利」「老後資金2000万円」など、近年ニュース等でよく目にするキーワードはいったい何なのか。私たちはこれからの時代に、どのようにお金と向き合っていけばよいのか。こうした疑問を少しでもスッキリさせていくために、分かりやすく解説していきます。
		これからの金融機関はどうなっていくのか	私たちの身の回りにある金融機関といえば、銀行、信用金庫、JA、生保、損保・・・色々な組織が多く存在しています。でも、実は金融機関は5年前、10年前と比べると、だいぶ様変わりしています。最新情報などをもとに、今後の行方や私たちの生活にどのような影響があるのか等を詳しくみていきます。
	虞 尤楠	働くこと	働くことの意味、家庭内の労働（家事・育児・介護）、仕事と余暇、女性の労働などの側面から、日本の労働環境や労働市場の現象を説明し、「働く」について理解を深める。
		人間多様性の力	人間多様性とは何か、企業側のダイバーシティ・マネジメントについて説明し、グローバル化の背景で自分ができることを話す。
		労働者は本当に幸せ？	仕事と幸福の関係について説明し、働き方改革が促進される社会背景で、労働者の直面する問題や挑戦を話す。
		私たちはどうすれば、幸せになれるのか？	仕事、収入と幸福の関係について説明し、働き方改革が促進される社会背景で、労働者の直面する問題や挑戦を話す。
	坂元 洋一郎	需要と供給について	市場は、買い手と売り手の集まりである。その市場の1つを具体的に挙げ、見てみることで、需要とは何なのか、供給とは何なのか、需要と供給との関係について考える。

学科	担当教員氏名	テーマ（講義名）	内容
	坂元 洋一郎	温暖化問題について考える	私たちは、電気やガソリンなどのエネルギーを使用して、豊かな生活が出来ている。そのため、生活が豊かになればなるほどたくさんのエネルギーを消費する。たくさんのエネルギーを消費すると二酸化炭素などの温室効果ガスもたくさん排出されることになる。このようにして温暖化問題が深刻化することになる。そのメカニズムや対策、SDG'sについて考える。
		公務員の仕事とは	公務員の仕事とはどんなものか、公務員の3大魅力、公務員試験について、地方公務員の経験をもとにわかりやすく説明する。
		金融って何なのか？	世の中では、お金が流通することにより、経済が潤うことになる。そして、お金の余っている人がお金の足りない人に融通することを金融取引という。現代において、その手法は複雑化・多様化しているが、銀行員の経験をもとにわかりやすく説明する。
		防災について考える	昨今、日本各地の至る所で数十年に一度の集中豪雨が発生しており、甚大な被害が出ている。なぜ、そのような災害が発生するのか、また、どのようなことをしたら減災できるのかについて考える。災害はいつ起こるかわかりません。災害が起こる前に一度考えてみましょう。
		経済とは？	経済とは？というところ「経済の父」と呼ばれるアダム・スミスの『国富論』にある「神の見えざる手」を想像することでしょう。それは、市場に任せておけば、価格メカニズムの働きにより、需要と供給が自然に調節されるという3百年前の考えです。果たして、現代社会においても通することでしょうか。古典的な考え方をもとに進化している経済について考えましょう。
	真田 高充	地域産業である『造船業界』を知ろう！	長崎県の主要産業である「造船業」について、過去と現在を確認し、未来を見通しながら、世界におけるわが国の「造船業界」の位置付けや「海運業界」との関係など、造船業界やその周辺業界の現状を分かりやすく解説します。
		『ベンチャー（Startup）』ってなに!?	若者の将来にとって、起業してベンチャービジネスを目指すことが珍しくない時代になってきました。 ・そもそもベンチャー（Startup）とは何か？ ・どんな仕事なのか？ ・なぜ若者はベンチャーを目指すのか？ といった素朴な疑問からベンチャービジネスを解き明かします。
		風力発電から学ぶ『新エネルギー』のポテンシャル	新エネルギーのポテンシャルが大きい長崎県。 新エネルギーの「期待」や「課題」は多く、普及に向けた検討も活発化しています。 電力系統の問題点や資金調達の話まで、新電力の考え方を分かりやすく解説します。
		自動車産業から見た『ものづくり』とは!?	”100年に1度の大きな構造変化が起きている”と言われる自動車産業。 何が課題で、これからどうなっていくのか？ 航空機産業など、他の産業と比べながら、わが国の「ものづくり」を解説します。
		食糧やエネルギーを切り口とした『世界の捉え方』	世界を知るためには、経済規模（GDP）や政治体制だけでなく、経済を支える「エネルギー」や「食糧」、あるいは産業のコメと言われる「半導体」など、経済資源の確保も重要な論点となっています。 ”世界は相互に依存しあっている”ことを改めて考え直すと同時に、「わが国の強み・弱みは何か？」を整理しながら世界を捉え直します。
	竹田 英司	地域の稼ぐ力（＝地域産業）の再生と育成	日本の地方市町村では、農林漁業・地場産業・観光業が、地域の稼ぐ力（＝地域産業）です。その地方市町村は、人口が減少しています。人口減少下において、どのように「地域の稼ぐ力（＝地域産業）」を再生や育成していくのか。地方都市、農山漁村、中山間地域（農業が不利な地域）、公共交通（二次交通）衰退地域などが生き残っていく手立て（＝地方創生）を考えましょう。

学科	担当教員氏名	テーマ（講義名）	内容
	竹田 英司	2つの地域活性化	地域活性化には、(1)地域経済活性化と(2)地域社会活性化があります。たんに定住人口を増やしたり、外国人観光者を増やしたりすることが、地域経済活性化ではありません。(1)地域経済活性化は、企業の視点で経済性（または収益性）を重視し、①地域経済の規模拡大や②地域雇用者の雇用数増加などをゴールに置きます。何がどうなれば、地域経済が活性化したことになるのかを考えましょう。
	田村 善弘	韓国の農業と食文化	韓国の食といえば、ビビンバ、キムチなどをイメージする人も多いのではないのでしょうか。また、唐辛子が入った赤い料理をイメージする人が多いのではないのでしょうか。しかし、日本においても地域ごとに農業や食文化が異なるように、韓国においても地域ごとに農業や食文化に特徴があります。この講義では、韓国の農業についてみた後で、いくつかの地域を取りあげ、農業や食文化についてみていきます。これらの内容に加えて、講師の経験をもとに日韓の食事のマナーとの違い、食にまつわる韓国語などについてみていく予定です。
		韓国の食料品輸出と農業	韓国は日本と同じく食料輸入が多い国ですが、一方では農水産物や食品の輸出を積極的に行っている国でもあります。この講義では、韓国が食料品の輸出において、どのような取り組みを行っているのか、そのなかで農業ではどのような動きがみられるのかについてみていきます。
		フードシステムと消費生活	私たちは日々の食生活のなかで、様々な食料を消費しています。この消費生活を支える仕組みはどのようなになっているのでしょうか。また、それは私たちが望む食料消費を支えているのでしょうか。この講義では私たちの食生活を支える「フードシステム」をみていくとともに、そのなかにはどのような課題があるのかについてみていきます。
	芳賀 普隆	再生可能エネルギーの普及、利活用と地域活性化を考える	気候危機、東日本大震災、パリ協定採択、グリーンリカバリーなどをきっかけにエネルギー問題への関心が高まっております。また、2016年4月からは電力小売自由化も開始された上、最近では脱炭素化に向けた動きが加速化するなど、エネルギーを巡る状況が大きく変化し、日本においてもこのような動きへの対応が迫られております。本講座では、近年の動向や長崎県等の事例も踏まえつつ、再生可能エネルギーの普及、利活用と地域活性化について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。
		環境問題について考えよう	気候変動や大気汚染、海洋プラスチック汚染（海ごみ問題）など、環境問題は日本だけでなく、全世界的な問題となっています。環境問題はなぜ起こるのでしょうか。また、皆さんの生活とどのような関わりがあるのでしょうか。本講座では、経済学の観点からみた環境問題について、具体例を交えながらお話するとともに、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。
	横山 均	プライバシーと個人情報の保護	2005年に個人情報保護法が施行され、国民のプライバシー意識は、急激に高まりました。これに伴い医療や防災に関する個人情報が共有されないなどの弊害が生じています。2001年に総務省の室長として公的部門の個人情報保護法制を立案してから、2020年に内閣官房の局長を最後に退官するまで、この弊害を改めるべく、政府と与党に働きかけてきました。プライバシーと個人情報の保護について、過去から未来まで、分かりやすく解説します。
		行政のデジタル化	2021年2月9日にデジタル改革関連法案が閣議決定されました。本法案の成立後に、行政のデジタル化は、一気に進むのでしょうか。2001年に、政府のIT戦略本部は、「5年以内に世界最先端のIT国家になる」と宣言しました。しかし、紙による手続が多く残り、2020年の最後の仕事は、行政改革推進本部 事務局長として、紙による手続をデジタル化するため押印を廃止することでした。行政のデジタル化の現状と課題について語ります。
		情報公開と政府	2001年に情報公開法が施行され、政府は国民に対し説明する責務を負うことになりました。この法律により政府はどのように変わったのでしょうか。あるいは変わらなかったのでしょうか。1998年に総務庁（総務省）で情報公開制度を立案してから、2020年に行政改革推進本部の事務局長を最後に退官するまで、政府の変化を内部から見てきました。この論点について分かりやすく説明します。